

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2011年第16週  
(4月18日～4月24日)

- \* 2011年4月27日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「ヒトT細胞白血病ウイルス-1型  
(HTLV-1)」も掲載しています。

平成23(2011)年4月28日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

# 全数把握対象疾患 報告数 2011年16週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週		16週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	102	69	85	58	1,364	341	8,209
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1 鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ							1
	細菌性赤痢	2		2		15		63
	腸管出血性大腸菌感染症		4	2	1	24	4	211
	腸チフス							2
	パラチフス		1	1		7		10
四類	E型肝炎		1			5	1	23
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎				1	12	1	104
	エキノコックス症					1		8
	黄熱							
	オウム病					1		7
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							3
	つつが虫病	1				7		41
	デング熱	1	2		1	11		33
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎					1		1
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							2
マラリア	1	1	1		7		16	
野兔病								
ライム病	1		1		2		2	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1		1	3	14	8	150	
レプトスピラ症					2		2	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週		16週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	4	4	3	54	10	233
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	1	2		11	1	74
	急性脳炎 *2	1				7	3	112
	クリプトスポリジウム症	1				2		3
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1		8		33
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1		13	5	73
	後天性免疫不全症候群	5	4	4	10	130	14	412
	ジアルジア症	1				4	1	21
	髄膜炎菌性髄膜炎							1
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4	3	1		52	4	193
	破傷風					1	1	21
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1	17
	風しん	1		2	2	7	12	77
麻しん	1	3	13	13	51	20	146	
2011/4/27集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### (全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

**結核 58件** 肺結核 29件、その他の結核 26件、肺結核及びその他の結核 3件、推定感染地は全て国内、年齢は5歳未満 1件、10代 2件、20代 7件、30代 6件、40代 5件、50代 5件、60代 10件、70代 11件、80代 9件、90歳以上 2件であった。

〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 1件** 無症状病原体保有者1件、血清型・毒素型はO157(VT2)、年齢は50代であった。

〈四類感染症〉

**A型肝炎 1件** 患者1件、推定感染地はカンボジア、推定感染経路は経口感染であった。

**デング熱 1件** 患者1件、推定感染地はインドネシアであった。

**レジオネラ症 3件** 肺炎型3件、年齢は60代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内3件、推定感染経路は水系感染(風呂) 1件、その他(不明) 2件であった。

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 3件** 腸管アメーバ症 2件、腸管及び腸管外アメーバ症 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は性的接触(異性間) 2件、その他(不明) 1件であった。

**後天性免疫不全症候群 10件** 無症候キャリア 6件、AIDS 3件、その他 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 3件、30代 2件、40代 1件、50代 1件、AIDS患者の年齢は40代 3件、推定感染地は国内 8件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 8件、異性間 1件)、不明 1件であった。

**風しん 2件** 検査診断例 1件、臨床診断例 1件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 1件、ベトナム 1件、風疹含有ワクチン接種歴は、接種なし 2件であった。

**麻しん 13件** 麻しん検査診断例 12件、修飾麻しん 1件、年齢は10歳未満 4件(うち5歳未満 2件)、10代 2件、20代 2件、30代 3件、40代 2件、推定感染地は国内 11件、グルジア 1件、フィリピン 1件、麻しん含有ワクチン接種歴は、接種なし 3件、1回接種 4件、不明 6件であった。

※ 第15週該当分として、五類 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、五類 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件、五類 風疹 1件が追加報告された。

# 定点把握対象疾患 報告数 2011年16週

定点種別	対象疾患	2011年					報告医療機関数	定点医療機関数
		13週	14週	15週	16週	定点あたり		
小児科	RSウイルス感染症	20	20	24	25	0.10	261	264
	咽頭結膜熱	54	38	40	49	0.19		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	404	415	611	721	2.76		
	感染性胃腸炎	1,393	1,739	2,202	2,394	9.17		
	水痘	259	234	228	233	0.89		
	手足口病	12	8	17	8	0.03		
	伝染性紅斑	140	149	147	131	0.50		
	突発性発しん	147	144	193	198	0.76		
	百日咳	8	11	5	8	0.03		
	ヘルパンギーナ	5	7	4	6	0.02		
	流行性耳下腺炎	70	68	77	60	0.23		
	川崎病(注1)	2	3	3	4	0.02		
	不明発しん症(注1)	20	18	17	23	0.09		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	3,192	1,928	2,098	2,253	5.43	415	419
眼科	急性出血性結膜炎	0	1	1	0	0.00	37	39
	流行性角結膜炎	11	14	16	10	0.27		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	0	0	1	0.04	24	25
	無菌性髄膜炎	0	0	0	2	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	6	7	8	11	0.46		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		

2011/4/27集計

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたりの報告数は増加した。過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・感染性胃腸炎の定点あたりの報告数は増加した。
- ・インフルエンザの定点あたり報告数は増加した。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点あたり報告数は増加した。過去5年平均と比較して高い値で推移している

### (定点医療機関からのコメント)

大田区保健所管内定点医療機関

- ・RSウイルス感染症:患者が出ています。

世田谷保健所管内定点医療機関

- ・眼の症状がないアデノウイルス感染症 1名。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:患者が増えてきました。
- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性 10名。

北区保健所管内定点医療機関

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:流行しています。

荒川区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性 5名。
- ・感染性胃腸炎:カンピロバクター属菌陽性 2名。病原性大腸菌O18、O25陽性 各1名。

板橋区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性 1名。病原性大腸菌O1陽性 1名。
- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性 1名。病原性大腸菌O18、O25陽性 各1名。

西多摩保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:3歳未満の患者はロタウイルス陽性です。

多摩立川保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス陽性 5名。

※ インフルエンザの迅速診断結果及びコメントは13頁にまとめて記載しました。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年16週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	4	1		50	3			5	1	
～11か月	10	3	3	208	13		1	81		1
1歳	6	13	15	444	37		2	95		2
2歳	3	9	27	260	45	1	8	12	1	2
3歳	2	5	79	251	44		6	2		1
4歳		5	92	213	38	5	19	1		
5歳		4	117	161	21		20	2		
6歳		2	116	122	8	1	29		1	
7歳		2	67	103	10	1	13			
8歳		1	64	99	8		13			
9歳			40	75	4		7			
10～14歳			70	149	2		9			
15～19歳		1	4	30			1			
20～29歳		3	27	229			3		5	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	25	49	721	2394	233	8	131	198	8	6
先週比	1	9	110	192	5	-9	-16	5	3	2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月			1	4		
～11か月		2	2	17		1
1歳	1	1	8	66		
2歳	1	1	3	66		
3歳	9		2	130		
4歳	16		2	167		
5歳	11			181		
6歳	6			274		
7歳	8			283		
8歳	3			208		1
9歳			2	137		
10～14歳	4		2	335		
15～19歳	1			100		2
20～29歳			1	85		1
30～39歳				91		1
40～49歳				78		
50～59歳				19		1
60～69歳				9		
70～79歳				2		3
80歳以上				1		
合計	60	4	23	2253		10
先週比	-17	1	6	155	-1	-6

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2011年16週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		2
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		1
8歳		1
9歳		
10～14歳		
15～19歳		2
20～29歳	1	2
30～39歳	1	3
40～49歳		2
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	2	13

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年16週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	3			3				1		
中央区			10	8	5			1		
みなと	1	5	13	39	2	1	1	6		
新宿区	3		15	40				4		
文京			4	20	1			1		
台東	1	1	4	35	2		5	1		
墨田区		4	20	17	5		5	1		
江東区			22	171	13	1	4	5		
品川区		2	19	66	5		5	5		
目黒区		1	4	13	3		2	1		
大田区	7	6	32	150	3		12	10	2	
世田谷		1	49	134	11		5	8		1
渋谷区			4	26	1		1			
中野区			23	38	6		1	4		
杉並	2	1	27	93	4		5	5		
池袋			3	21	3			1		
北区			11	30	2		1	6		1
荒川区	1	2	18	40	3	3	1	4	2	
板橋区			8	50	6			7		
練馬区		5	34	125	27		8	10	3	1
足立			34	110	11		2	9	1	
葛飾区			10	84	4		3	7		
江戸川	2	4	44	135	5		15	15		
八王子市	3	3	58	199	12		11	14		1
町田			55	104	21	1	3	5		2
西多摩		1	14	69	7		4	8		
南多摩			23	101	13	2	6	7		
多摩立川			26	101	19		2	12		
多摩府中		4	43	205	30		12	20		
多摩小平	2	9	94	167	9		17	20		
島しょ										
東京都合計	25	49	721	2,394	233	8	131	198	8	6

全数把握対象疾患  
(風しん、麻疹)報告数

【保健所別】 2011年16週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		2		5		
中央区				6		
みなと	2			35		
新宿区		2	1	25		2
文京	1			10		1
台東				19		
墨田区				32		
江東区	4			47		
品川区	1			27		1
目黒区	1			16		
大田区	4		2	149		
世田谷	2		2	151		
渋谷区	1			12		
中野区	1			40		
杉並	3			91		
池袋				27		
北区	1			42		
荒川区	1		2	60		
板橋区	2		2	54		
練馬区	3			66		
足立	2			269		
葛飾区	2			151		1
江戸川			1	58		
八王子市	5		2	232		2
町田	1		2	98		
西多摩			1	115		
南多摩	11			25		
多摩立川	4		1	137		1
多摩府中	5		5	100		1
多摩小平	3		2	154		1
島しょ						

東京都合計	60	4	23	2,253	-	10
-------	----	---	----	-------	---	----

	風しん	麻疹
千代田		
中央区		
みなと	1	
新宿区		1
文京		
台東		
墨田区		1
江東区		
品川区		2
目黒区		2
大田区		1
世田谷		2
渋谷区		
中野区		
杉並	1	
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		1
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		1
町田		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中		1
多摩小平		1
島しょ		

東京都合計	2	13
-------	---	----

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年16週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	1.00			1.00				0.33		
中央区			3.33	2.67	1.67			0.33		
みなと	0.17	0.83	2.17	6.50	0.33	0.17	0.17	1.00		
新宿区	0.38		1.88	5.00				0.50		
文京			1.33	6.67	0.33			0.33		
台東	0.25	0.25	1.00	8.75	0.50		1.25	0.25		
墨田区		0.80	4.00	3.40	1.00		1.00	0.20		
江東区			2.44	19.00	1.44	0.11	0.44	0.56		
品川区		0.25	2.38	8.25	0.63		0.63	0.63		
目黒区		0.20	0.80	2.60	0.60		0.40	0.20		
大田区	0.58	0.50	2.67	12.50	0.25		1.00	0.83	0.17	
世田谷		0.06	3.06	8.38	0.69		0.31	0.50		0.06
渋谷区			1.00	6.50	0.25		0.25			
中野区			3.29	5.43	0.86		0.14	0.57		
杉並	0.20	0.10	2.70	9.30	0.40		0.50	0.50		
池袋			0.60	4.20	0.60			0.20		
北区			1.57	4.29	0.29		0.14	0.86		0.14
荒川区	0.25	0.50	4.50	10.00	0.75	0.75	0.25	1.00	0.50	
板橋区			0.80	5.00	0.60			0.70		
練馬区		0.38	2.62	9.62	2.08		0.62	0.77	0.23	0.08
足立			2.62	8.46	0.85		0.15	0.69	0.08	
葛飾区			1.25	10.50	0.50		0.38	0.88		
江戸川	0.17	0.33	3.67	11.25	0.42		1.25	1.25		
八王子市	0.27	0.27	5.27	18.09	1.09		1.00	1.27		0.09
町田			6.88	13.00	2.63	0.13	0.38	0.63		0.25
西多摩		0.13	1.75	8.63	0.88		0.50	1.00		
南多摩			2.56	11.22	1.44	0.22	0.67	0.78		
多摩立川			1.86	7.21	1.36		0.14	0.86		
多摩府中		0.20	2.15	10.25	1.50		0.60	1.00		
多摩小平	0.13	0.60	6.27	11.13	0.60		1.13	1.33		
島しょ										

東京都	0.10	0.19	2.76	9.17	0.89	0.03	0.50	0.76	0.03	0.02
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

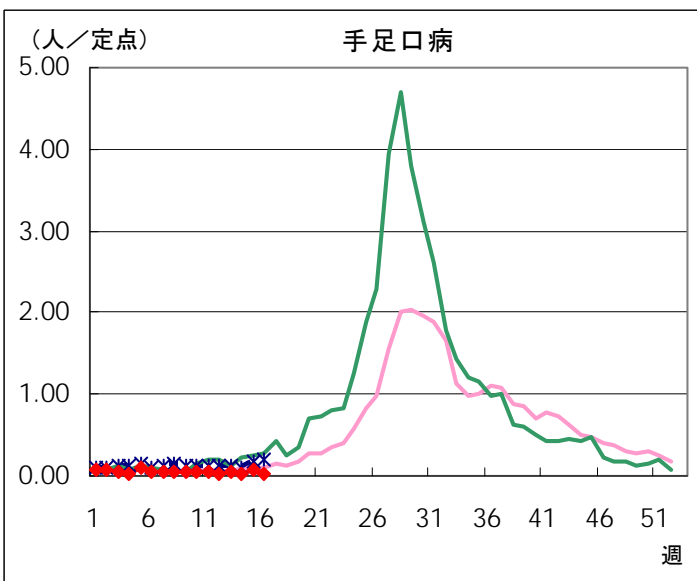
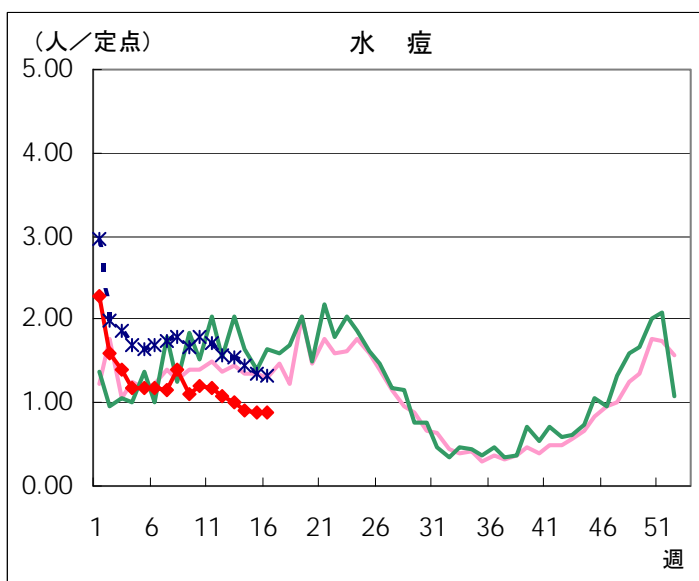
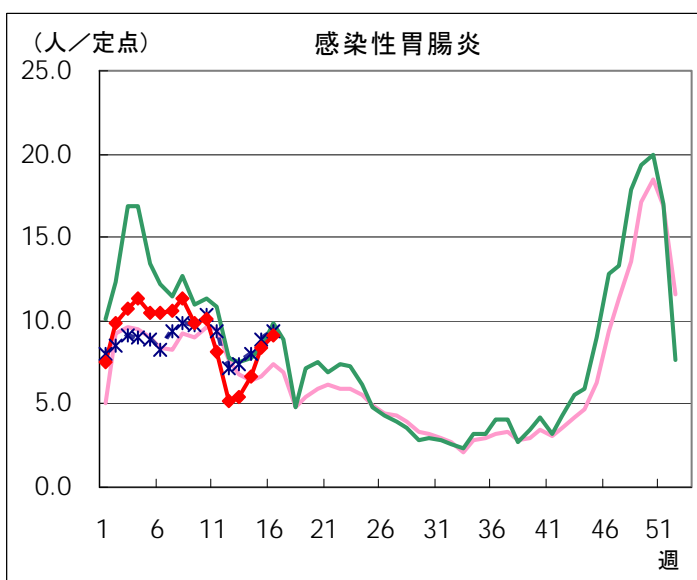
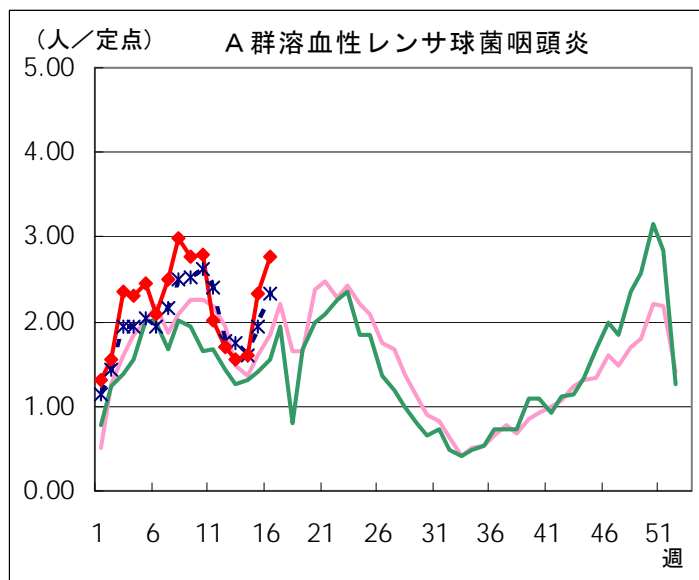
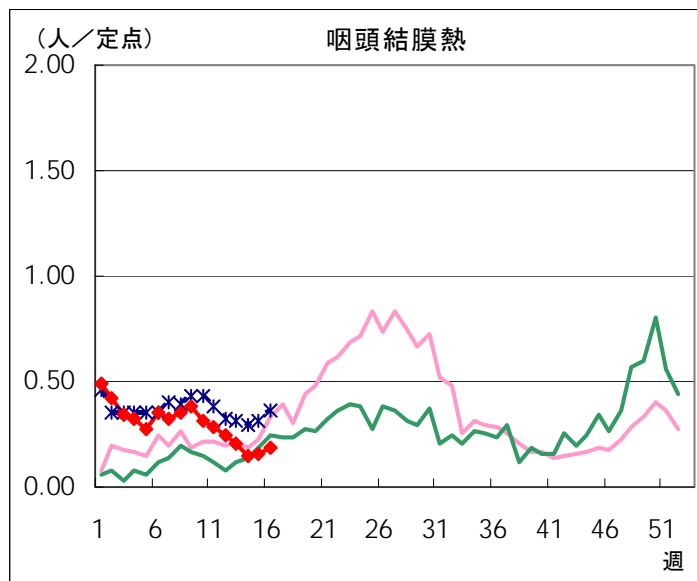
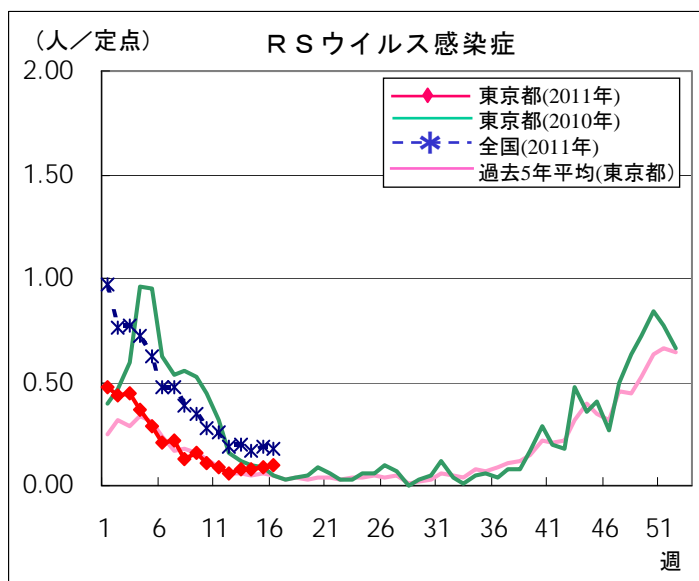


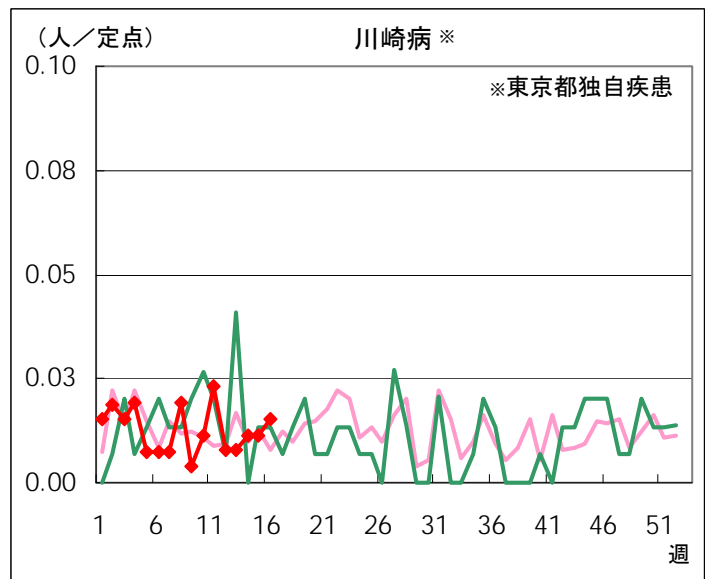
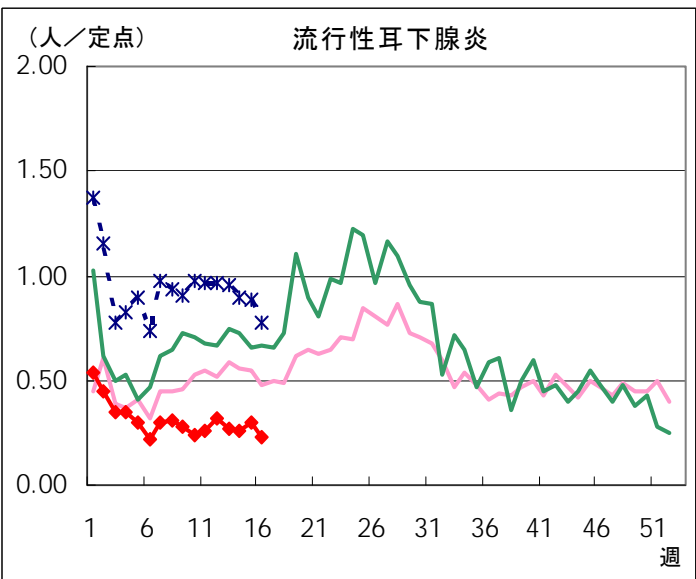
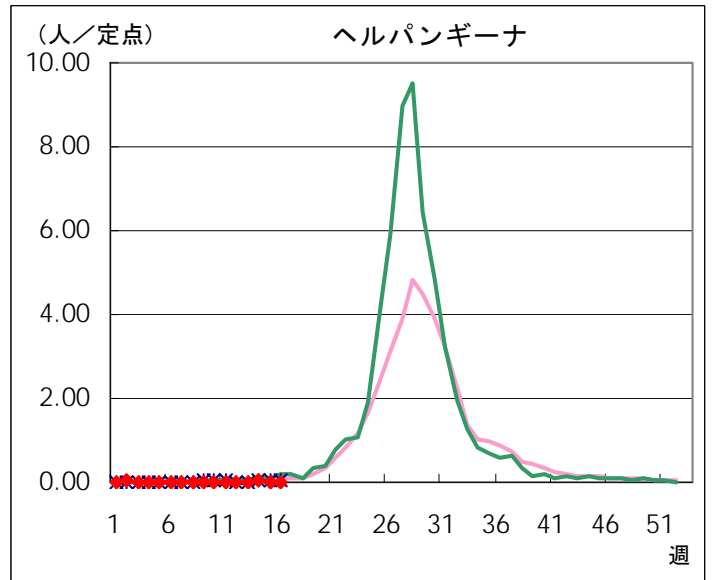
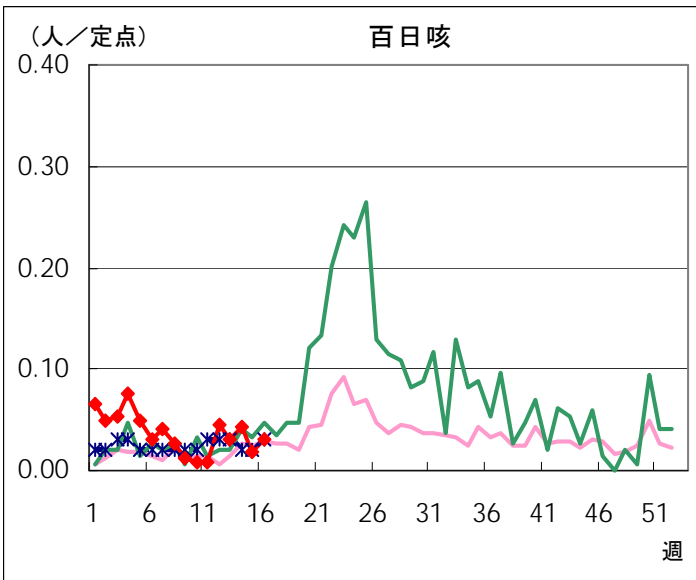
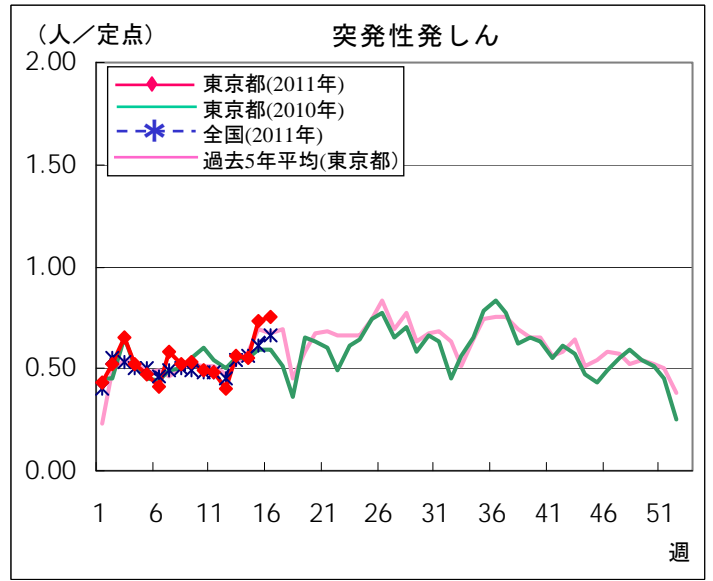
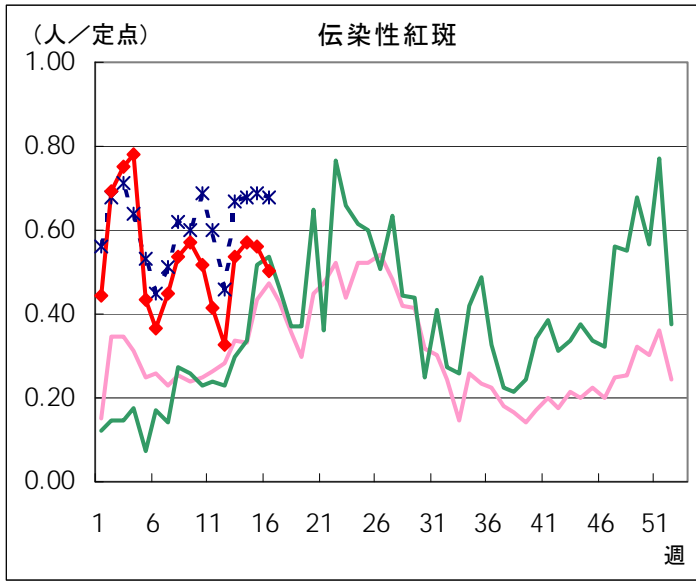
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		0.67		1.25		
中央区				1.20		
みなと	0.33			3.89		
新宿区		0.25	0.13	2.08		2.00
文京	0.33			1.67		1.00
台東				2.71		
墨田区				4.00		
江東区	0.44			3.36		
品川区	0.13			2.25		1.00
目黒区	0.20			2.00		
大田区	0.33		0.17	7.45		
世田谷	0.13		0.13	6.04		
渋谷区	0.25			2.00		
中野区	0.14			3.64		
杉並	0.30			5.69		
池袋				3.38		
北区	0.14			3.82		
荒川区	0.25		0.50	8.57		
板橋区	0.20		0.20	3.38		
練馬区	0.23			3.14		
足立	0.15			13.45		
葛飾区	0.25			11.62		1.00
江戸川			0.08	3.05		
八王子市	0.45		0.18	12.89		1.00
町田	0.13		0.25	7.54		
西多摩			0.13	8.21		
南多摩	1.22			1.79		
多摩立川	0.29		0.07	6.52		0.50
多摩府中	0.25		0.25	3.13		0.50
多摩小平	0.20		0.13	6.70		0.50
島しょ						

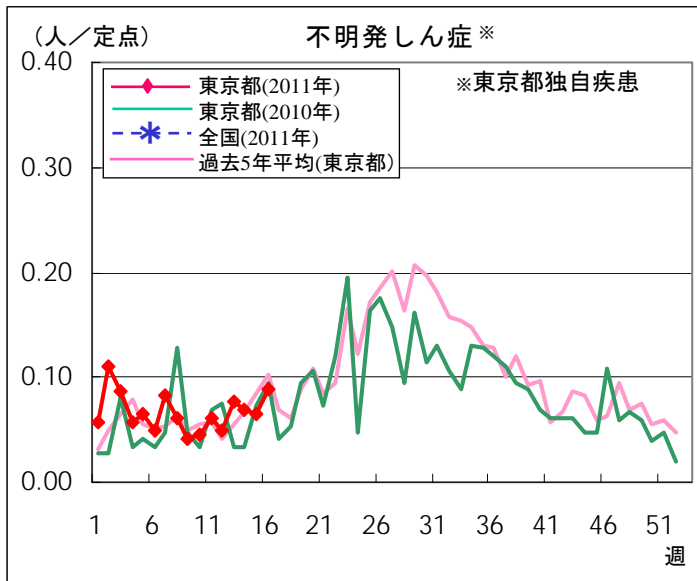
東京都	0.23	0.02	0.09	5.43	-	0.27
-----	------	------	------	------	---	------

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年16週現在

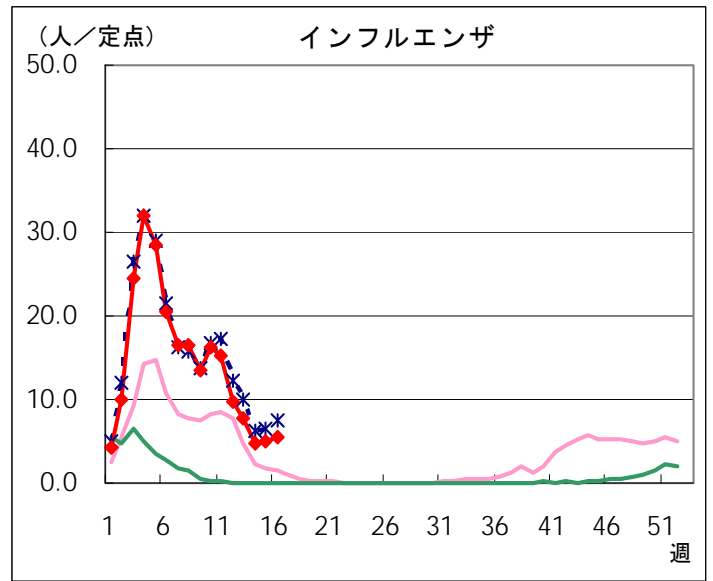
## ◆ 小児科定点



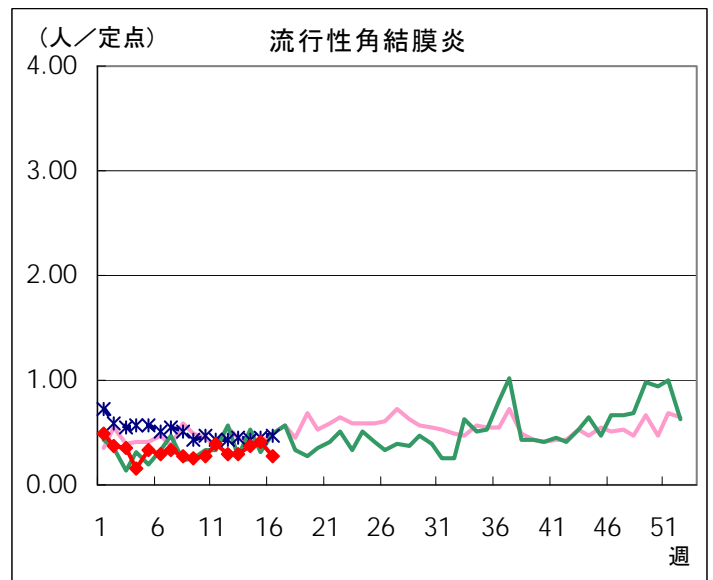
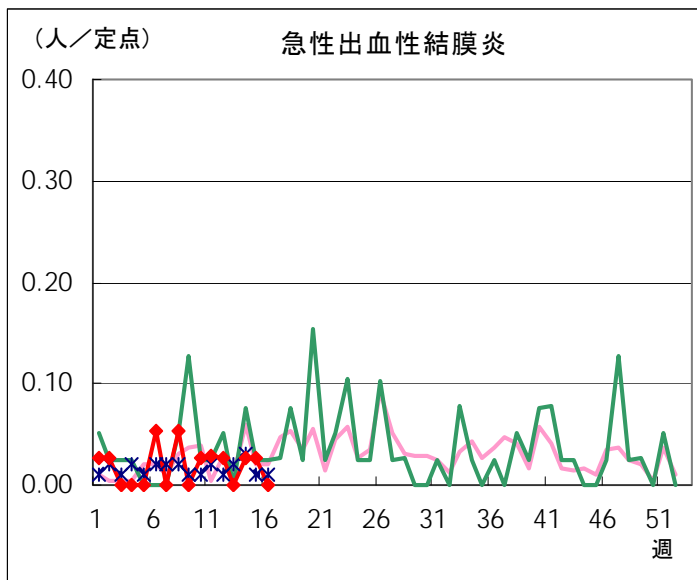




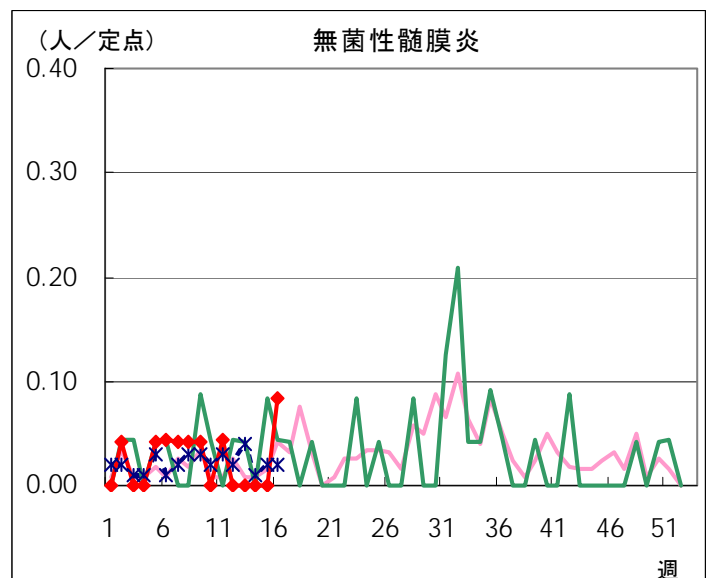
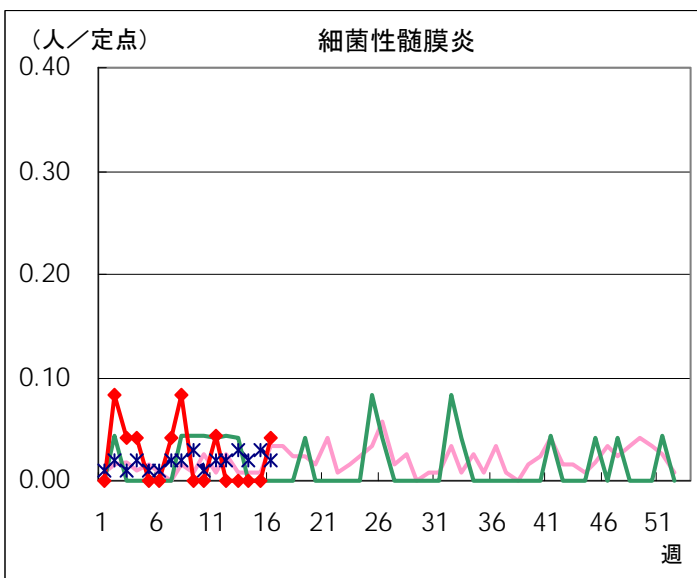
◆ インフルエンザ定点

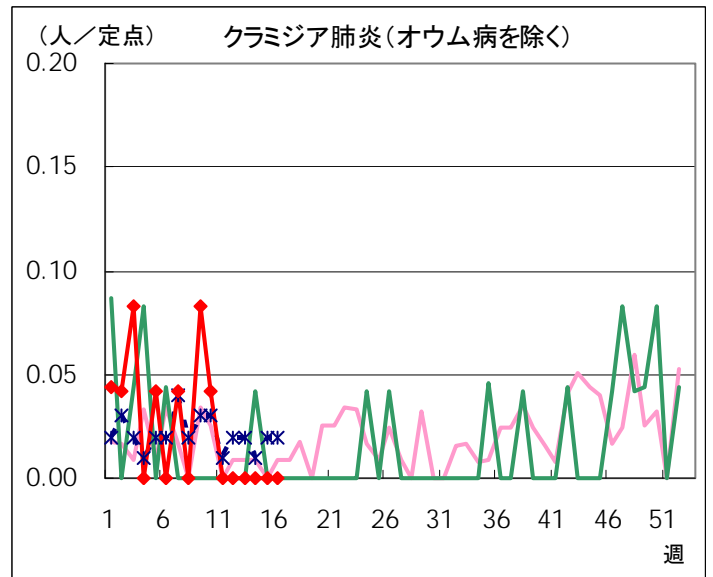
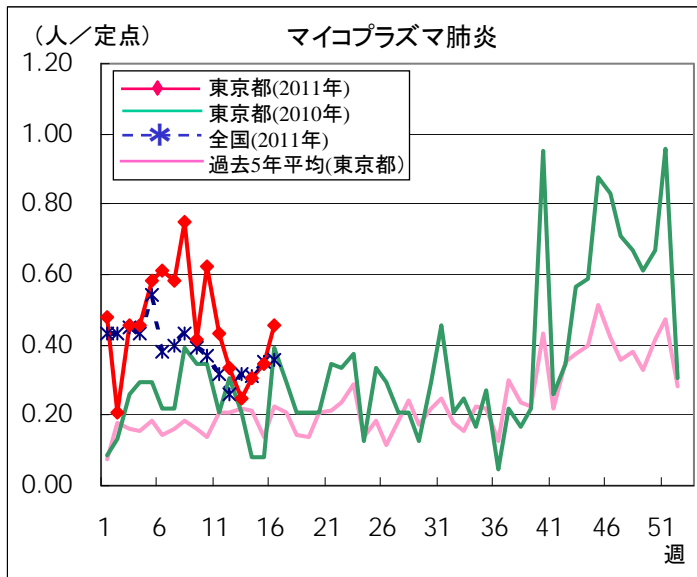


◆ 眼科定点

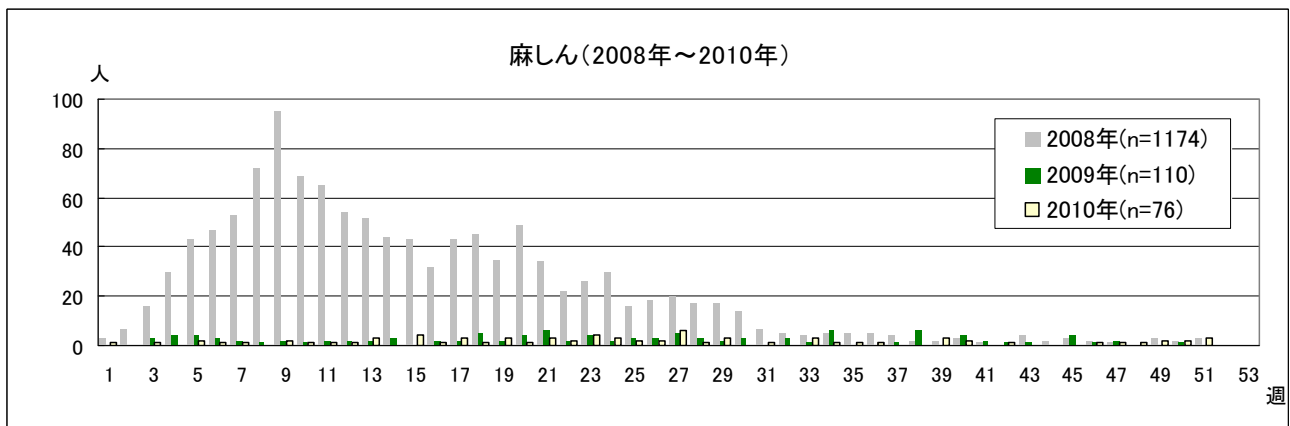
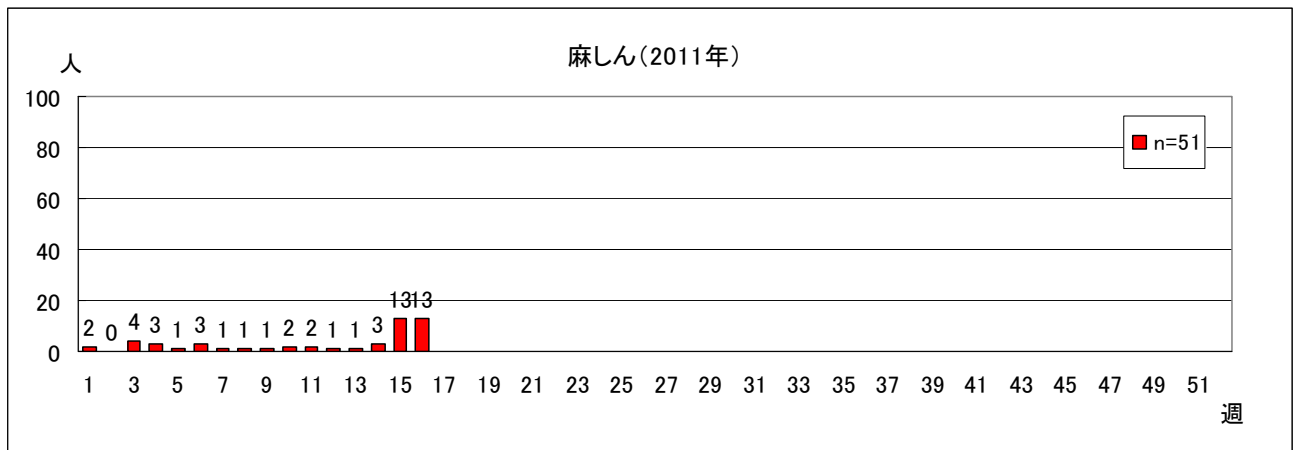


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年16週現在



## 定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関からいただきました、インフルエンザ迅速診断結果とコメントを下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		医療機関数*	備 考 (カッコ内は型記載なし)
	A	B		
新宿区	0	16	2	
台東	6	7	4	
江東区	12	24	10	(3)
品川区	1	16	3	
目黒区	0	16	5	
大田区	3	37	8	(25) インフルエンザは殆どB型で、A型は散見。マイコ(?)。
世田谷	2	50	9	(1) すべてB型です。患者は減ってきており、毎年の春の姿になっています。
渋谷区	1	6	3	
中野区	12	26	7	臨床診断 2名
北区	7	15	4	(7) インフルエンザのB型がまだあります。
荒川区	1	34	4	(10)、他にA・B同時陽性 1名 インフルエンザB型の集団発症が点在しています。
板橋区	2	6	2	
足立	5	60	3	
八王子市	24	129	11	A・B同時陽性 1名、臨床診断 1名
西多摩	12	66	7	(8)
南多摩	1	16	8	(2) 学級閉鎖も多いです。
多摩立川	0	43	5	
多摩小平	15	32	9	A・B同時陽性 1名
合 計	104	583	102	

\* 迅速診断結果をご報告いただいた医療機関数

## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
4/11	急性気管支炎	6M	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	遺伝子
3/25	百日咳疑い	8M	鼻汁	百日咳菌	
4/12	上気道炎	8M	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトメタニューモウイルス	
4/8	感染性胃腸炎	11M	直腸拭い液	A群ロタウイルス	抗原
3/26	百日咳疑い	1	鼻汁	百日咳菌	遺伝子
4/8	急性胃腸炎による脳症疑	1	糞便	A群ロタウイルス	抗原
4/9	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス 7型	遺伝子
4/11	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
4/11	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
4/11	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 7型	
4/13	下痢(胃腸炎)	1	直腸拭い液	ライノウイルス A群ロタウイルス	
4/15	急性腸炎	1	直腸拭い液	A群ロタウイルス	抗原
4/15	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
2/7	急性中耳炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
3/19	百日咳疑い	2	鼻汁	百日咳菌	
4/9	突発性発しん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
4/12	気管支炎	2	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
4/7	喘息性気管支炎	2	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
4/11	感染性胃腸炎	2	糞便	A群ロタウイルス	
3/28	百日咳疑い	3	鼻汁	メチシリン感受性黄色ブドウ球菌 (毒素:SEB産生) 感受性は①参照	分離同定
4/9	不明発しん症	3	咽頭拭い液	バルボウイルス	遺伝子
4/15	流行性耳下腺炎	4	咽頭拭い液	EBウイルス	
3/28	百日咳疑い	6	鼻汁	百日咳菌	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
4/12	感染性胃腸炎	21	糞便	A群ロタウイルス	抗原
3/25	百日咳疑い	33	鼻汁	百日咳菌	遺伝子
				メチシリン感受性黄色ブドウ球菌 (毒素:SEC+TSST-1産生) 感受性は②参照	分離同定
4/13	インフルエンザ	33	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
4/13	流行性耳下腺炎	記載なし	咽頭拭い液	EBウイルス	

薬剤感受性検査結果：メチシリン感受性黄色ブドウ球菌

参照番号	CEZ	CTX	IPM	EM	CAM	GM	VCM	MINO	OFLX	ABPC	MPIPC
	セファゾリン	セフトキシム	イミペネム	エリスロマイシン	クラリスロマイシン	ゲンタマイシン	バンコマイシン	ミノサイクリン	オフロキサシン	アンピシリン	オキサシリン
①	s	s	s	s	s	s	s	s	s	R	s
②	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s

s:感性(感受性), I:中等度, R:耐性

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm09*型
15週	0	5	9	2
2010-2011年 シーズン累計**	0	178	81	191

\* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とします。

\*\* 2010-2011シーズンの開始は第36週(2010年9月6日～9月12日)

◇オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

4/25 現在

	感受性株	耐性株
AH1pdm09型 インフルエンザウイルス	121	2



病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年							
		8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週
ウイルス	アデノウイルス	8	2	1			2	2	1
	ライノウイルス		4	2	3	2		2	4
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	2				1			
	単純ヘルペスウイルス							1	
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	3	3	1	3	1	3	1	3
	EBウイルス		1			1	1	5	2
	サイトメガロウイルス		1	1		1		2	
	ムンプスウイルス			1				1	
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19	1	1		1		1		1
	RSウイルス	3		2	1	2		1	2
	ノロウイルス	2	1	1	1				
	ロタウイルス			1	2	1	2		6
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	9	10	7	6	14	3	1	5	
インフルエンザウイルスB	7		9	7	12	3	12	9	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	3	2	2				1	2	
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス						2		5	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	1	11						
	百日咳	3			8	4			5
	マイコプラズマ								
	その他の細菌	2				2			2
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年8週～2011年15週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		138	22	75	30	9	3		2		1	4	22	4	1			82	
ウイルス	アデノウイルス	3	3	1	2		1		1				2					3	
	ライノウイルス	6	1	5	1								1					3	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス					2					1								
	単純ヘルペスウイルス																		1
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																		
	ヘルペスウイルス6/7											1	8						9
	EBウイルス		1	1		1							2	2					3
	サイトメガロウイルス																		5
	ムンプスウイルス														2				
	麻疹ウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19												2	3					
	RSウイルス		2	7															2
	ノロウイルス				5														
	ロタウイルス				10														2
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	52	1	1															1	
インフルエンザウイルスB	59																		
インフルエンザウイルスAH1pdm09	9	1																	
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス		1	4	2															
細菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌			12															
	百日咳			20															
	マイコプラズマ																		
その他の細菌			6																
その他の病原体																			

## <感染症豆知識>

### ヒトT細胞白血病ウイルス－1型（HTLV-1）

ヒトT細胞白血病ウイルス－1型（HTLV-1：(Human T-cell leukemia(lymphotropic) virus Type-1) は成人T細胞白血病・リンパ腫（ATL）の病因ウイルスで、臨床病態から、急性型、リンパ腫型、慢性型、くすぶり型に分類される。また HTLV-1 は HAM (HTLV associated myelopathy：慢性痙性対麻痺）と呼ばれる神経疾患を発症することもある。

HTLV-1 の感染経路として、母乳を介した母子感染、輸血、性交渉（男→女）が知られているが、主な感染経路は母乳である。潜伏期は通常数十年で、感染者の高齢化が進んでいる。大部分の感染者はキャリア（抗体保有者）で、日本ではおよそ 108 万人と予想され、また年間 700～1000 人が新規に ATL を発症するとみられている。つまり、HTLV-1 のキャリアの生涯にわたる ATL の発症率は 2～3%と推定され、専ら新生児期に感染した人たちに限られている。ATL の急性型では皮疹、肝脾腫、リンパ節腫脹、異常リンパ球増加、高 Ca 血症が認められ、免疫不全による日和見感染も起こしやすい（HAM では歩行障害、感覚障害など）。

検査には HTLV-1 抗体検査が行われるが、疫学面での発生状況としては、日本南西部（九州が多い）、中南米、アフリカなどがキャリアの高率な発生地域である。将来 HTLV-1 は、人口減に伴うキャリア数の減少傾向が予測されているが、近年献血者による全国調査でキャリアの増加傾向が心配されている。今後 ATL に関する基礎、臨床面でのさらなる研究や治療法（抗がん剤など）の一層の開発が期待されている。これらを踏まえ、厚生労働省と日本産婦人科学会は母子感染予防の立場から、妊婦健診に 2011 年 4 月から HTLV-1 の抗体検査（公費助成対象）を追加することになった。

（文責 （財）性の健康医学財団 松田静治）